

クラス番号	233	ゼミタイプ	サービスラーニング型
		担当教員名	小藤あけみ
テーマ	地域の活動から「コーディネータースキル」を学ぶ		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

地域包括ケアシステムは、高齢者だけでなく全世代の支援について整備が必要とされています。国は医療・介護・住まい・予防・生活支援サービスが身近な地域で包括的に確保されるように様々なサービスや地域の取り組みなどを進めています。

一方、地域には地域の様々な課題の解決に向けて自主的に取り組みを継続している団体があります。

このゼミでは、地域で自主的な取り組みをしている団体や介護保険事業を行っている法人などの活動に参加していきます。どのような思いで活動をしているのか。また参加している地域住民はどんな困りごとをかかえているのか。いろいろな場面での聞き取りを活動の中で行っていきます。

活動を通して、多職種連携を行うための「コーディネータースキル」を学習することを目指します。

学習目標

- ① 地域で生活を続けるために必要な事は何か、活動を通して考えることができる
- ② グループワークや活動先との対話を行うことで、「多職種連携」の基礎となるコミュニケーション力について、自己の課題を考えることができる

授業計画：

- 前期 介護保険制度や地域包括ケアシステム、ケアマネジメントについて基本的な知識の学習
各団体の紹介と各団体について調査
グループ分けと活動先の決定
- 夏休み 各団体の活動に参加し、学生としてできることを実行する
- 後期 活動のリフレクション
活動報告会に向けて資料作成
地域の課題の解決策など興味を持った点について調査などを行う
1年間のまとめと研究報告会

担当教員からのメッセージ

医療の現場での福祉職は「つなぐ」役割を多く担います。その基礎となるコミュニケーション力は経験の中から学ぶことができます。ゼミで学生同士のグループワークを通して、また学生以外の方との会話を通して学んでいきましょう。

地域にはいろいろな思いをもって活動している団体がたくさんあります。その思いを聞き取り、学生としてできることを一緒に考えていきましょう。